

「A」次の古語の訳語として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 まめやかなり  
①まじめだ ②格別だ ③明瞭だ ④上品だ
- 2 なのめなり  
①並一通りだ ②格別だ ③最低だ ④無関係だ
- 3 なめげなり  
①唐突だ ②凡庸だ ③強引だ ④無礼だ
- 4 いうなり  
①熱心だ ②有能だ ③可憐だ ④優美だ
- 5 せちなり  
①突然だ ②切実だ ③面倒だ ④理不尽だ

「B」次の文の(訳)の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 6 逢はじとしけれど、男はあやにくに心ざし深くなりゆく。(古本説話集)  
(訳) (女は男に) 逢うまいとしたけれど、男は「」愛情が深くなっていく。  
①ひどく ②逆に ③しだいに ④まじめに
- 7 灯台に向かひて寝たる顔どももらうたげなり。(枕草子)  
(訳) 灯台に向かつて寝ている(舞姫たちの)顔も「」。  
①すがすがしい ②色つやがよい ③かわいらしい ④なまめかしい
- 8 あながちに丈高き心地ぞする。(源氏物語)  
(訳) (女たちの立ち姿は)「」背丈が高い感じがする。  
①妙に ②本格的に ③むやみに ④確かに
- 9 うちつけなる御夢語りにはぞはべるなる。(源氏物語)  
(訳)「」御夢語りであるようですね。  
①力強い ②厳然とした ③衝撃的な ④突然の
- 10 おぼろけのよすがならで、人の言にうちなびき、この山里をあくがれ給ふな。(源氏物語)  
(訳)「」縁以外に、人の口車に乗せられて、この山里からさまよい出なさってはいけない。  
①きちんとした ②はつきりしない ③並々ではない ④どうでもよい
- 11 この大将の君(源氏)の、今はとよそになり給はむなむ、飽かずいみじく思ひたまへらるる。(源氏物語)  
(訳)この大将の君が、これで最後と(この家と)「」おなりになるようなことが、(私には)かぎりなくひどく悲しく思われるのです。  
①無縁に ②関係に ③疎遠に ④険悪に
- 12 むすめを思ひかけて、みそかに通ひありきけり。(堤中納言物語)  
(訳) (男は、友達の)娘を好きになって、「」通い続けた。  
①熱心に ②深夜に ③ひそかに ④頻繁に
- 13 いとうちつけなる心かな。(源氏物語)  
(訳) ひどく「」心だなあ。  
①軽率な ②実直な ③冷淡な ④風流な
- 14 物の心知らせ給へる宮たちは、御衣の色などいともまやかなるもあはれなり。(栄花物語)  
(訳) 物心のおつきになった宮様たちは、お召しの服(喪服)の色(黒)などもとても「」のもいたわしい。  
①整っている ②色が濃い ③色あせている ④地味な
- 15 うれしきもの。…とみにて求むる物、見出でたる。(枕草子)  
(訳) うれしいもの。…「」必要になって探している物を、見つけ出したとき。  
①あるときに ②どうしても ③なぜか ④急に

解答

【新二年生用】 古文単語330三訂版 P 2 2 4 ~ P 2 3 3

- 15 ( ④ )
- 14 ( ② )
- 13 ( ① )
- 12 ( ③ )
- 11 ( ① )
- 10 ( ③ )
- 9 ( ④ )
- 8 ( ③ )
- 7 ( ③ )
- 6 ( ① )
- 5 ( ② )
- 4 ( ④ )
- 3 ( ④ )
- 2 ( ① )
- 1 ( ① )